

星陵高校サッカー部 OB 会 各位

2026 年 8 月 21 日
星陵高校サッカー部 OB 会
副会長 多淵 大樹

2026 年 8 月 11 日 第 2 回 世代間交流サッカーイベント 実施報告書

平素より、星陵高校サッカー部 OB 会の活動にご理解とご協力を賜り、まことにありがとうございます。

このたび、星陵高校サッカー部 OB 会の主催により、地域の小・中学生を招き、星陵高校サッカー部の現役生との「第 2 回 世代間交流サッカーイベント」を開催いたしました。

当日は天候にも恵まれ、体調不良者やケガ人を出すことなく、全プログラムを無事に終えることができましたので、以下のとおりご報告いたします。

1. 開催概要

- ・日時：2026 年 8 月 11 日（火・祝）9:00～12:00
- ・会場：星陵高校 第 2 グラウンド
- ・参加者：現役部員 12 名／小学生 46 名／中学生 5 名／保護者・関係者約 50 名（観覧）
- ・参加チーム
 - ・西神中央 FC：21 名（小 5・小 6）
 - ・井吹台 SC：9 名（小 6）
 - ・FC AWJ：15 名（小 5・中 2）
 - ・SNS 経由での参加：1 名（小 4）
 - ・Intel Biloba Tokyo：6 名（東京都社会人サッカーリーグ 1 部）
- ・参加 OB（運営・進行補助）
 - ・西島 俊介（65 回生）
 - ・西畑 暲（63 回生）
 - ・三ノ宮 健介（61 回生）
 - ・福井 孝介（59 回生／Intel Biloba Tokyo スタッフ）
 - ・岡田 雄希（57 回生）
 - ・多淵 大樹（56 回生／Intel Biloba Tokyo 代表・監督）
- ・特別協力
 - ・山下 真太郎（元全国高等学校サッカー選手権得点王／Intel Biloba Tokyo コーチ）
 - ・PANA（お笑い芸人、元ソサイチ日本代表、滝川二高出身／Intel Biloba Tokyo 選手）

- ・安全管理
 - ・看護師を常駐配置
 - ・緊急時の救護室（休養場所）として星友館を確保
-

2. 開催の目的

1. サッカーを通じて、高校生と小・中学生が世代を越えて交流する機会をつくる。
 2. 高校生が年下の選手と同じグループで活動し、声かけやサポートを行うことで、「教える・伝える・関わる」経験を得る。
 3. 小・中学生に、高校生のプレーや学校の環境に直接触れてもらい、少し先の自分をイメージするきっかけをつくる。
 4. OB 会が学校・現役生・地域のサッカーチームをつなぐ役割を担い、継続的な世代間交流のあり方を探る。
-

3. 当日の実施内容

時間	内容
8:40	星陵高校第2グラウンド集合
9:00	プログラムスタート
9:00～9:30	ウォーミングアップ・グループ分け（3グループ）
9:30～10:30	各グループで交流トレーニング ①ドリブル、②シュート、③パス&コントロール（1セッション17分+3分の飲水・移動）
10:30～11:15	フルコート交流ゲーム（15分ハーフ）
11:15	全体集合写真撮影
11:30	閉会
12:00	完全撤収

なお、当日の活動の様子は、実施状況の記録および今後の運営改善への活用を目的として、スポーツ用AIカメラ「Veo」により撮影しました。記録映像は、以下のURLから視聴できます。

【記録映像視聴 URL： <https://youtu.be/HdOAB4Vckn8>】

※記録映像には参加者が映っているため、プライバシー保護の観点から、視聴およびURLの共有はOB会員を含む関係者の範囲に限るようお願いいたします。

4. 実施成果

- ・天候にも恵まれ、体調不良者や大きなケガもなく、予定した全プログラムを安全かつ円滑に実施することができました。
 - ・当日は看護師を常駐配置するとともに、緊急時の救護室として星友館を確保し、体調不良や負傷等に備えた安全管理体制を整えました。
 - ・高校生と小・中学生が同じグループでトレーニングを行い、普段は接点の少ない世代同士が、自然に声を掛け合いながら活動する機会となりました。
 - ・参加者アンケートでは、「高校生と交流できたこと」「高校生のプレーや高校の雰囲気を知り、少し先の自分をイメージできたこと」「他チームの選手と交流できたこと」などが、良かった点として複数挙げられました。
 - ・小学生からは、高校生や特別コーチが優しくわかりやすく接してくれたことや、普段取り組んでいる練習内容でも、いつもとは異なる環境で楽しく充実して取り組めたことなど、前向きな感想が寄せられました。
 - ・保護者からも、星陵高校を実際に訪れ、高校生と接することで、高校生活や高校サッカーに対する漠然としたイメージが具体化した、ぜひ継続開催いただきたいとの声がありました。
 - ・人工芝グラウンドの環境や企画内容についても肯定的な意見が寄せられ、地域の子どもたちが星陵高校を訪れ、現役生と交流する機会として、一定の意義と成果があったと考えています。
 - ・当日は星陵高校同窓会の山田祐子会長にもお越しいただき、本取り組みの様子をご覧いただきました。
-

5. 参加者アンケートから見えた課題

参加者・保護者からは多くの肯定的な意見が寄せられた一方で、次回以降の改善につながる具体的な意見も寄せられました。

- ・フルコートゲームでボールを複数使用したことにより、プレーが分散し、接触の危険を感じる場面があったとの意見がありました。次回はボール1球を基本とし、安全性とゲームとしての一体感を優先します。
- ・「高校生ともう少し交流したかった」「高校生からプレーに関するアドバイスがあると、より交流を感じられた」との意見がありました。次回は、高校生が小学生に声を掛けたり、簡単な助言を行ったりする役割を、事前に明確にする必要があります。
- ・グループの識別については、グループごとに色を統一したビブスを着用することで、チーム分けをわかりやすくし、移動や進行をさらに円滑にできると考えています。
- ・保護者からは、開会時の挨拶や写真撮影等を見やすい位置で行うなど、観覧者もイベン

トの趣旨や一体感を共有しやすい運営を望む声がありました。

6. 前回からの改善点

第1回交流会では、中学生年代との練習試合を中心とした形式で実施し、次回に向けて「高校生が小学生を直接指導し、交流できるプログラム」や、高校生にとっての「教える経験」「リーダーシップを発揮する機会」を設けることを、今後の展望として掲げていました。そこで、第2回となる今回は、以下の改善を行いました。

- ・事前に詳細なタイムラインを策定し、ウォーミングアップから交流トレーニング、フルコートゲーム、閉会までの流れを明確にしました。
 - ・校門からグラウンドまでの動線上にスタッフを配置し、参加者が誤った経路でグラウンドへ向かわないように配慮しました。
 - ・通常の練習試合ではなく、高校生と小学生が同じグループで活動する時間を中心に据え、世代間の交流そのものをプログラムとして設計しました。
 - ・特別コーチおよび看護師の協力を得ることで、プログラムの質と安全管理体制の向上を図りました。
 - ・その結果、高校生との交流を肯定的に捉える参加者の声が複数寄せられ、世代間交流を取り入れたプログラムの継続に向け、一定の手応えを得ることができました。
-

7. OB 会としての意義

本取り組みは、OB 会による現役生支援を、物品の寄贈や資金面での支援だけにとどめず、現役生自身が成長できる機会を創出する取り組みとして実施したものです。

高校生が年下の選手に教え、伝え、関わる経験は、サッカー技術だけでなく、リーダーシップやコミュニケーション能力を育む機会にもなります。

また、OB 会が有する世代や所属を越えた人的ネットワークを生かすことで、学校や現役生だけでは実施が難しい企画について、OB が外部との橋渡しや運営支援を担える可能性を示すことができました。

今回も、複数世代の OB が当日の運営に参加するとともに、Intel Biloba Tokyo からスタッフ、選手、特別コーチを派遣することで、OB それぞれの経験や現在の活動を母校と現役生へ還元する機会となりました。

8. 今後の方針とご協力のお願い

OB 会としては、本取り組みの継続を基本方針とし、今回得られた成果と課題を踏まえ、第3回交流会の開催に向けた準備を進めたいと考えています。

実施時期、規模、内容については、学校教育および部活動への影響、安全管理等を踏まえ、学校および顧問の先生方と協議したうえで決定します。

第3回では、高校生が各グループで簡単な進行や声かけ、プレーへの助言を担うなど、年下の世代に「教える・伝える・関わる」経験を積めるような設計を検討します。

また、本取り組みを継続的かつ安定的に実施するためには、当日の運営、参加チームとの調整、安全管理、備品準備、撮影・記録等について、より多くのOBの協力を得られる体制を整えることが重要です。

今後、開催内容が具体化した段階で、OB会員の皆様にも、可能な範囲でのご参加やご協力をお願いできればと考えています。

あわせて、OB会の人的・財政的負担のみに依存しない運営基盤の選択肢として、NPO法人等の外部組織を設立する可能性についても、学校および同窓会と目的、必要性、役割分担、責任の所在等を十分に協議しながら、中長期的に検討していきます。

9. 謝辞

本取り組みの実施にあたり、ご理解とご協力を賜りました岡本先生、中西校長先生、星陵高校サッカー部の現役生、参加チームの選手・指導者・保護者の皆様、ならびに運営にご協力いただいたOB・関係者の皆様に、心より御礼申し上げます。

また、当日は山田会長にもご観覧いただきました。加えて、緊急時の救護室として星友館を開放していただくなど、安全な開催に向けた環境面でのご配慮を賜りましたことに、重ねて御礼申し上げます。

今後も、学校、同窓会、現役生およびOBの皆様と連携しながら、現役生の成長と、地域・世代間の交流につながる取り組みを積み重ねてまいります。

引き続き、OB会活動へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

別紙 当日の様子



GK トレーニング



FP トレーニング



フルコートゲーム



全体集合写真



終了時挨拶



星陵生と OB&スタッフ

※掲載写真および記録映像については、個人情報保護の観点から、関係者内での閲覧に限るものとします。